

<b>ジノテフラン粒剤</b> <b>スタークル粒剤</b>	<b>取扱メーカー：</b> サンケイ＊、北興  <b>原体メーカー：</b> 三井アグロ
<b>成分：</b> ジノテフラン〔ネオニコチノイド系〕……………1.0％	<b>性状：</b> 類白色細粒 <b>毒性：</b> 普通物 <b>消防法：</b> ——

### 【品目特性】……………

- 高い浸透移行性を有する有効成分により、水稻への本田処理で斑点米カメムシの防除に活用できる粒剤。殺虫効果に加え吸汁阻害効果が認められているため、効率的な斑点米防止効果が期待できる。
- 野菜ではコナジラミ類、ハモグリバエ類を始めとする多くの害虫に効果を示すので、効率的な同時防除が期待できる。育苗期、生育期株元散布など、幅広い処理方法で利用できるのも特長。
- 人畜、魚類、鳥類への毒性が低い薬剤。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

### 【使用上のポイント】……………

- 水稻に使用する場合には、湛水状態（ひたひた状態）で田面に均一に散布し、4～5日間は湛水状態を保ち、散布後7日間は落水やかけ流しをしない。
- 水稻の斑点米カメムシ類防除に使用する場合は、出穂期＋7～10日後に散布し、散布7～10日後に斑点米カメムシ類が要防除水準を下まわらない場合は追加防除を検討する。

### 【薬効・薬害等の注意】……………

- 株元散布を行う際は処理直後に灌水する。
- かんきつ及びなしに用いる場合は、今期に収穫見込のない苗木に対して株元散布し、処理後は軽く散水する。なお、本剤を散布してから効果を発揮するまでにある程度の期間を要するため、対象害虫の発生前に予防的に散布する。
- 共通注意事項8．適用作物群に関する注意事項を参照。
- ふきに使用する場合には、葉に付着した薬剤は払い落とす。

### 【安全対策上の注意】……………

- つまみ菜、間引き菜には使用しない。
- 共通注意事項6．街路・公園・堤とう等で使用する場合は注意事項を参照。
- 甲殻類に影響を及ぼすので、使用時並びに使用後も注意。
- 共通注意事項7．ミツバチに対する注意事項を参照。



【適用と使用法】 .....

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数	
稲	ウンカ類 ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ イネドロオイムシ カメムシ類 イネミズゾウムシ	3kg/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	4回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回以内)	
きゅうり	ハモグリバエ類	2g/ 株	育苗期	1回	株元散布	4回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、定植後の株元散布は1回以内、散布は2回以内)	
	コナジラミ類	1～2g/ 株			植穴土壌混和		
	アブラムシ類	1g/ 株					
	ハモグリバエ類 アザミウマ類	2g/ 株	定植時		株元散布		
	アブラムシ類 コナジラミ類	1～2g/ 株 1g/ 株					生育期 但し、収穫開始14日前まで
うり類 (漬物用)	アザミウマ類	2g/ 株	定植時	植穴土壌混和	3回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)		
にがうり	アブラムシ類 コナジラミ類	1～2g/ 株					
	コナジラミ類	2g/ 株	育苗期	1回	株元散布	3回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内)	
メロン	ハモグリバエ類						定植時
	コナジラミ類	1～2g/ 株					
	アブラムシ類	1g/ 株	定植時		植穴土壌混和		
	ハモグリバエ類 アザミウマ類	2g/ 株					
	コナジラミ類	1～2g/ 株					
アブラムシ類	1g/ 株						
すいか	ワタアブラムシ	2g/ 株	育苗期	株元散布	4回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、定植後の株元散布は1回以内、散布は2回以内)		
			定植時	植穴土壌混和			
			生育期 但し、収穫21日前まで	株元散布			
かぼちゃ	アブラムシ類 コナジラミ類			定植時	植穴土壌混和	3回以内 (定植時の土壌混和及び育苗トレイへの灌注は合計1回以内、散布は2回以内)	
ズッキーニ	アブラムシ類	1g/ 株					生育期 但し、収穫開始14日前まで

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
ト　マ　ト ミニトマト	コナジラミ類	培土1ℓ 当り10g	は種前	1回	培土混和	5回以内 (培土混和及び灌注 は合計1回以内、育 苗期の株元散布は1 回以内、定植時の土 壌混和は1回以内、 散布及び定植後の株 元散布は合計 2回以内)
	ハモグリバエ類 コナジラミ類	1～2g/ 株	育苗期		株元散布	
	アブラムシ類	1g/ 株	定植時		植穴土壌混和	
	コナジラミ類 アブラムシ類		生育期 但し、収穫 前日まで	2回 以内	株元散布	
とうがらし類	アブラムシ類 コナジラミ類	1～2g/ 株	育苗期	1回	植穴土壌混和	4回以内 (育苗期の株元散布 及び定植時の土壌混 和は合計1回以内、 定植後の株元散布は 1回以内、散布は 2回以内)
	アザミウマ類		定植時			
	アブラムシ類		生育期 但し、収穫 開始14日 前まで			
	とうがらし (葉)	アザミウマ類 アブラムシ類		定植時 但し、収穫 30日前ま で	植穴土壌混和	
な　　　　す	ハモグリバエ類	2g/ 株	育苗期	2回 以内	株元散布	3回以内 (育苗期の株元散布 及び定植時の土壌混 和は合計1回以内、 散布及び定植後の株 元散布は合計 2回以内)
	コナジラミ類 アブラムシ類	1～2g/ 株 1g/ 株				
	ハモグリバエ類 アザミウマ類 コナジラミ類	1～2g/ 株			定植時	
	アブラムシ類	1g/ 株	生育期 但し、収穫 前日まで	株元散布		
	コナジラミ類		育苗期			
	ピー　マ　ン	アブラムシ類 コナジラミ類	1～2g/ 株	定植時	1回	
アザミウマ類		育苗期		2回 以内	株元散布	
アブラムシ類		生育期 但し、収穫 前日まで				
キャ　ベ　ツ		アオムシ コナガ	2g/ 株	育苗期	1回	植穴土壌混和
	アブラムシ類	2g/ 株	定植時			
	ハイマダラノメイガ	3g/ 株		1回		
	は　く　さ　い	アオムシ コナガ	2～3g/ 株			
アブラムシ類		2g/ 株				
アオムシ コナガ		2～3g/ 株				
ブロッコリー	アブラムシ類 コナガ	2g/ 株				

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
だいこん	アブラムシ類	6kg/10a	は種時	1回	播溝土壌混和	5回以内 (は種時の播溝土壌混和は1回以内、は種時の全面土壌混和は1回以内、粒剤の散布は1回以内、水溶剤及び液剤の散布は合計2回以内)
	キスジノミハムシ	4～6kg/10a			全面土壌混和	
		9～12kg/10a				
	タネバエ		生育期 但し、収穫30日前まで		散布	
チンゲンサイ	キスジノミハムシ	6kg/10a	定植時		土壌混和	3回以内 (は種時及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内)
	アブラムシ類 キスジノミハムシ		は種時		播溝土壌混和	3回以内 (は種時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
なばな類	アブラムシ類					
レタス 非結球レタス	ナモグリバエ	培土1ℓ 当り15g	は種前		培土混和	4回以内 (は種前の培土混和は1回以内、育苗期の株元散布、定植時の土壌混和及び育苗トレイへの灌注は合計1回以内、散布は2回以内)
		1g/株	育苗期後半		株元散布	
	アブラムシ類 ナモグリバエ	2g/株	定植時		植穴土壌混和	
ねぎ	アザミウマ類 ハモグリバエ類	6kg/10a	は種時		播溝土壌混和	4回以内 (は種時の土壌混和、育苗トレイへの灌注及び定植時の株元散布は合計1回以内、生育期の株元灌注は1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計2回以内)
			定植時			
	アザミウマ類 クロバネキノコバエ類	6～9kg/10a	生育期 但し、収穫3日前まで	株元散布		
	ハモグリバエ類					
わけぎ	アザミウマ類 ハモグリバエ類	6kg/10a	生育期 但し、収穫21日前まで	1回	播溝土壌混和	4回以内 (定植後の株元散布は1回以内、生育期の株元灌注は1回以内、散布は2回以内)
にんじん	ハモグリバエ類	9kg/10a	は種時			4回以内 (は種時の土壌混和は1回以内、生育期の株元灌注は1回以内、散布は2回以内)
ほうれんそう	アブラムシ類	6kg/10a				3回以内 (は種時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
セ ル リ ー	アブラムシ類	2g/ 株	定植時	1 回	植穴土壌混和	3 回以内 (定植時の土壌混和は 1 回以内、散布は 2 回以内)
い ち ご	ワタアブラムシ	0.5～1g/ 株				1 回
く わ い	アブラムシ類	3kg/10a	収穫 30 日 前まで	3 回 以内	散布	3 回以内
らっきょう	アザミウマ類	6kg/10a	生育期 但し、収穫 前日まで			
オ ク ラ	アブラムシ類	9kg/10a	生育期 但し、収穫 開始 14 日 前まで	1 回	株元散布	3 回以内 (株元散布は 1 回以 内、散布は 2 回以内)
し ょ う が	クロバネキノコバエ類		生育期 但し、収穫 14 日前ま で			
実えんどう さやえんどう	ハモグリバエ類		生育期 但し、収穫 開始 14 日 前まで			
さやいんげん	アブラムシ類		生育期 但し、収穫 開始 14 日 前まで			
だ い ず	フタスジヒメハムシ	6kg/10a	は種時		播溝土壌混和	3 回以内 (は種時の土壌混和 は 1 回以内、散布は 2 回以内)
し そ	マディラコナカイガラムシ	2g/ 株 (但し、 10a 当り 25kg まで)	定植時		植穴土壌混和	3 回以内 (定植時の土壌混和 は 1 回以内、散布は 2 回以内)
食 用 ギ ョ ー	アブラムシ類	1g/ 株 (但し、 10a 当り 30kg まで)				
	マメハモグリバエ	2g/ 株 (但し、 10a 当り 30kg まで)				
しゅんぎく	ハモグリバエ類	9kg/10a	は種時		播溝土壌混和	3 回以内 (は種時及び定植時 の土壌混和は合計 1 回以内、散布は 2 回以内)
			定植時		植溝土壌混和	
ふ き	アブラムシ類	20kg/10a	定植後～生 育期（草丈 20cm 頃ま で）但し、 収穫 45 日 前まで		土壌表面散布	3 回以内 (土壌表面散布は 1 回以内、散布は 2 回 以内)

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
葉　ご　ぼ　う	アブラムシ類	6kg/10a	は種時	1回	全面土壌混和	2回以内 (は種時の全面土壌混和は1回以内、生育期の株元散布は1回以内)
			生育期 但し、収穫 21日前まで		株元散布	
茶	クワシロカイガラムシ	12kg/10a	摘採7日前まで	2回以内	株元土壌混和	2回以内
さとうきび	カンシャコバネナガカメムシ	6～ 9kg/10a	生育期 但し、収穫 45日前まで		散布	5回以内 (粒剤は2回以内、液剤、水溶剤及び水和剤は合計3回以内)
	メイチュウ類	9kg/10a				
かんきつ (苗木)	ミカンハモグリガ	20g/ 株	育苗期	5回以内	株元散布	5回以内
な　　し (苗木)	アブラムシ類	20g/ 株 (但し、10a 当り110kg まで)				1回
き　　く ガ　ー　ベ　ラ	マメハモグリバエ	2g/ 株 (但し、 10a 当り 30kg まで)	定植時	1回	植穴土壌混和	5回以内 (土壌混和は 1回以内)
	コナジラミ類	1g/ 株 (但し、 10a 当り 30kg まで)				
	アブラムシ類	20kg/10a				
			生育期	5回以内	株元散布	
花き類・観葉植物 (きく、ガーベラを除く)	コナジラミ類	1g/ 株 (但し、 10a 当り 30kg まで)	定植時	1回	植穴土壌混和	
	アブラムシ類	20kg/10a				
			生育期	5回以内	株元散布	
つつじ類	ツツジグンバイ	6kg/10a	発生初期	5回以内	株元散布	5回以内